

なかしゅんべつ

NAKASYUNBETU

2008
SEPTEMBER

9

VOL 368



第11回「宵の市」を開催しました

当日は、天候にも恵まれ絶好のお祭り日和となり、多くの方で会場は大賑わいでした。

生産資材価格高騰に係る根室農業・
全道農業危機突破総決起大会を開催



「北海道農業を守れ!!」



去る八月十九日に根室農業危機突破総決起大会が、八月二十一日に全道農業危機突破総決起大会が、多くの関係者参加する中、開催されました。

根室管内農業危機 同日の大会開始前には、JA中標津駐車場より参加者会場となりました中標津町総合文化会館 全員で、生産資材、原油価格の高騰により今までにないほどの経営悪化にたいする対策を国に求めるため、会場までの道のりをプラカードを掲げて、さまざまなお話を上げながらデモ行進しました。



大集会では、参加者を代表して三人の方が決意表明しました。当農協酪農対策協議会・望月会長が、参加者を代表して決意表明をおこないました。また、全道農業危機突破総決起大会では、全道より五千三百人の



全道農業危機突破総決起大会



農業者、農業関係者が参加し行われました。はじめに主催者でありますJA北海道中央会・飛田稔章会長より「現状を乗り越え、食糧基地の責任をはたしていかなければならない」と挨拶がありました。大会では、生産現場からの訴えの決意表明が行われ、大会決議が採択され大会終了となりました。大会終了後は、中島公園から大通り公園までの約2kmの道のりをデモ行進し、「北海道農業を守れ！」などと参加者一丸となり訴えました。

宵の市

大人から子どもまで 時間を忘れてリフレッシュ

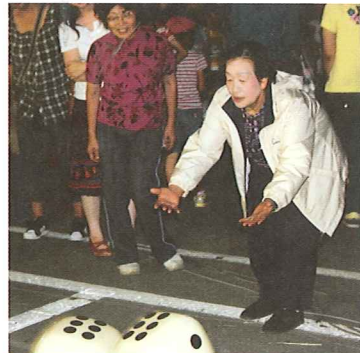
毎年恒例となっています宵の市が、八月七日(木)農協主催により盛大に開催されました。当日は、朝から曇りつない青空が広がり大勢の方々で大賑わいでした。

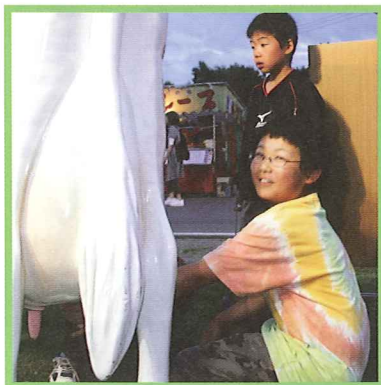
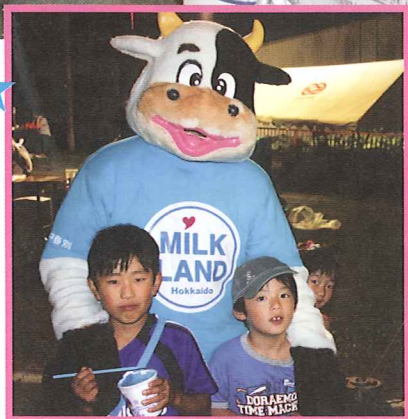
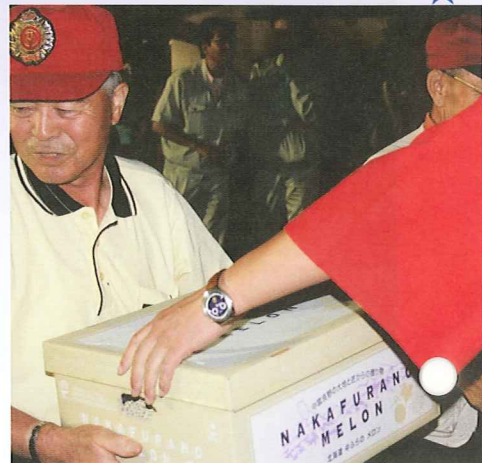


例年、組合員や地域の方々が集いおおいに盛り上がる宵の市が今年も開催され、多くの人で賑わいを見せました。今年で十一回目を迎え、心配された天気にも恵まれ盛大に開催されました。会場では、金魚すくい、ヨーヨー釣り、射的など多くのアトラクションコーナーがあり、今年も子どもに大人気でした。金魚すくいコーナーでは、真剣な表情

で、お気に入りの金魚に狙いを定めていましたが、なかなか上手くすくえず、悪戦苦闘する子どももいました。中には一人で、何匹もすくう子どももあり、金魚を手にして満面の笑顔浮かべておりました。射的コーナーでは、棚にずらりと並んだ景品にお目当ての物に的を絞り、見事ゲットすると、思わず目をキラキラさせ、得意満面の笑顔を見せていました。

食べ物コーナーでは、ステーキ、焼き鳥、焼きそばなどが並び、大人から子どもま





で沢山の方々と賑わいを見せました。会場中に香ばしい匂いが広がり、来場された皆さんも食欲をそそられ、美味しそうに次からつぎと食べていました。今年も大人に大人気のビールコーナーでは、ビール片手に気の合う仲間と会話も弾み、夜のふけるのも忘れる程楽しまれておりました。また、ステージでは大声大会などの催しも行われ、多くの方々が参加し、会場は大いに盛り上がっていました。

女性の方を対象としたサイコロゲームも行われ、出目の数だけ卵がもらえると、いうこともあり、皆さんサイコロを振る手に思わず力がいってしまいました。昨年引き続き青年部による牛乳、コーヒー牛乳の格安販売、搾乳体験コーナーも設けられ、こちらも大変な賑わいでした。用意した牛乳とコーヒー牛乳は、あつという間に完売しました。また、恒例のオークション大会が行われ、お目当ての商品の番を迎えると皆さん大きな声で、落札していました。

宵の市の締めを飾るお楽しみ抽選会では、発表される番号に耳を凝らし、自分の抽選券を確認し、当たった方は、少し興奮気味ながら笑顔で賞品を受け取っていました。

会場を訪れた皆さんは、短い夏のひと時を楽しく過ごす事ができたのではないのでしょうか。



伊藤牧場

WELCOME

各種の勉強会に積極的に参加していきたい



先月ご紹介しました平井優一さんのご紹介で、今月号は豊原地区の伊藤孝彦さんをご紹介いたします。

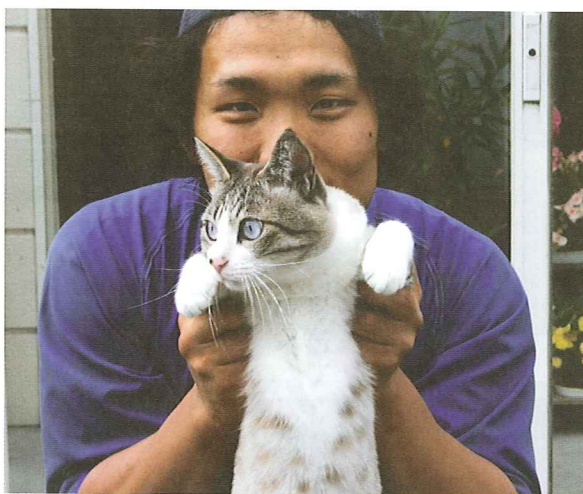


豊原地区 伊藤 孝彦さん(24歳)

孝彦さんは昭和五十九年七月七日、父・一吉さん、母・久美子さんの長男として生まれ、豊原小学校、中春別中学校を卒業、別海高等学校普通科へ進学され高校卒業後は、同校の専攻科へ進学し、家業を手伝いながらより専門的分野を学び、卒業後家業に就かれました。

孝彦さんは、別海町4Hクラブの会長も勤め、家業の傍らさまざまな活動に積極的に参加されております。また、高校時代には、空手部に所属し全国大会にも参加するほどの腕の持ち主でもあります。

小学生の頃から家業の手伝いをしており、小学校高学年になった頃から、手伝いを毎日するようになったそうです。毎日、ただ漠然と家業の手伝いをする中で、進路について考えるようになり、やはり家業を継ぐ事を思い描くようになっていったと話してくれました。また、高校へ進学した頃より自分の将来について考えるようになり、本格的に家業を継ごうと考えるようになって、専攻科へ進学されたそうです。専攻科に通い本格的に酪農について学びました。



家業に就いて今年で五年目を迎えた現在、立派な三代目を目指し、勉強中です。

今後の目標は、各種勉強会などにも積極的に参加し、見聞を広めて行きたいとのことでした。孝彦さんは多趣味とのことで、何か一つでは無く興味をもったものは、挑戦していきたいと話してくれました。

次回は、孝彦さんの紹介で、豊原地区・野矢貴志さんをご紹介いたします。

実際に見て触れて酪農について学ぶ 「心を耕す酪農体験in北海道」を開催



去る7月31日から8月3日までの日程で、道外の小学生を対象とした酪農体験ツアーが行われました。

例年この時期に開催されてきました根室管内の小学生を対象とした農業体験学習が、今年よりJA根室地区青年部連絡協議会とNツアのタイアップ企画として、道外の小学生を対象とした酪農体験ツアーとして行われ、総勢十八人九組の小学生が参加しました。

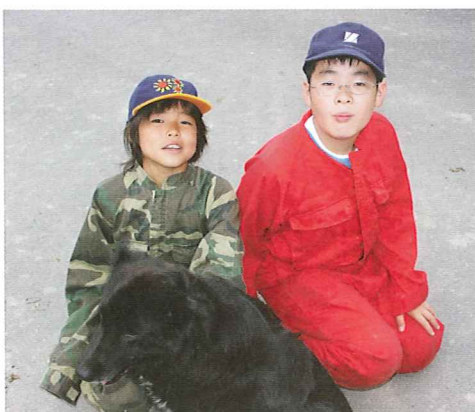
当地区では、二戸の青年部部員のご家族のご協力を得て豊原地区・松井牧場、中春別地区・久慈牧場が、二人一組計四人の小学生を受入れました。

中標津空港前の駐車場で参加者、受入先農家の顔合わせを行い、全員揃つての記念撮影を行いました。初めて親元を離れての旅行という事もあり、なかなか不安そうな参加者でしたが、眼前一面に広がる牧草地をみて目を輝かしていました。記念撮影終了後、受入先の方の車へ乗り込み、各々自宅へ向かいました。小学生は、初めて見る大きな牛に最初は驚



きを隠せない様子でしたが、牛舎の掃除や子牛のミルクやりなどの手伝いをしていました。参加した小学生は、最初は牛の大きさにビックリしましたが、仕事を手伝って楽しかったと話してくれました。

最後になりましたが、受入にご協力いただいた松井さん、久慈さんありがとうございました。



豊原開拓記念祭

みんなが交流して、 地域をより活性化しよう。

去る八月二十日、豊原小学校体育館において豊原開拓記念祭が行われました。



当日は、肌寒く時折小雨もパラつくあいにくの空模様で、豊原小学校体育館での開催となりましたが、多くの方が会場を訪れ大賑わいでした。悪天候のため予定より一時間程遅れて神社より保育園の園児、小学校の児童、大人の方々に別れ恒例の神輿が、「ワッショイ！ワッショイ！」の掛け声とともに練り歩きました。大人

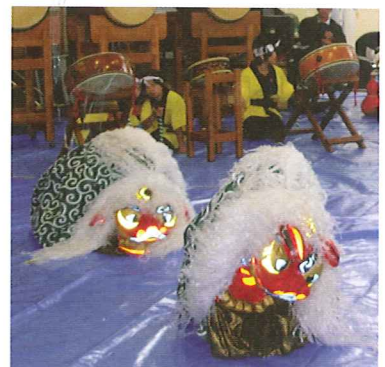


も子どもも活気のある掛け声で、神輿を担いでいる姿が印象的でした。沿道では、担ぎ手のかけ声に合わせて「ワッショイ！ワッショイ！」と手拍子を皆さんしていました。神輿を担ぐ我子の姿を記念に残そうとカメラを構える保護者の方々や地域の方々で一杯で、担ぎ手もカメラに向かい満面の笑みを浮かべておりました。

体育館では、焼肉を囲んでの昼食、日頃の疲れを癒し仲間たちとの会話も自然と弾み箸も進んでいる様子でした。余興では、太鼓、踊り、コーラスなど様々。日頃の練習の成果を発揮しており、会場は拍手と笑いで包まれておりました。

悪天候のため屋内となり残念ではありましたが、地

域の方々が集い毎日の農作業の疲れを癒すことができましたことと思います。



美原権現祭

地域の人たちと 笑顔の絶えないひと時を。



去る八月二十日美原神社前にて美原権現祭が開催され多くの方々で、盛り上がりました。

今年は、残念なことにあいにくの曇り空でしたが、多くの方々が集まり開催されました。

曇り空を吹き飛ばすような「ワッショイ！ワッショイ！」の掛け声とともに神輿を担いだ子供たちが、会場へ、会場を訪れた方々も「ワッショ



イーワッショイ！」と手拍子、我子の神輿を担ぐ姿を記念にとカメラを構えるお父さん、お母さん達も加わり一気に会場は盛り上がりを見せておりました。子ども相撲では、一人ひとり四股名を付けており熱がこもっておりました。もちろん土俵の上でも「はっけよい！のこった！」の掛け声とともに子供達が力一杯相撲をとっており会場では、拍手喝采でした。力一杯相撲をする子供たちの姿が、印象的でした。昼食は、地域の仲間たちと焼肉を囲みながら会話も弾み箸が進んでおりました。太鼓の力強い演奏や踊り、カラオケと余興も盛り上がり皆さん笑顔で、会場は、笑



い声が絶えず一番の盛り上がりを見せておりました。

富岡ふるさと祭り

互いに理解を深め、 ふるさとを思う豊かな心。

八月十七日に富岡地区で毎年行われております、第三十五回富岡ふるさと祭りが富岡会館前で盛大に開催されました。



当日は、八月とは思えないほどの冷え込みで、上着が必要になるほどでしたが、会場となった富岡会館には、沢山の富岡地区の方々が集まり盛大に開催されました。大勢の仲間や家族と美味しい焼肉を囲んで舌鼓をうち話も弾んでおりました。

特設会場では、ビールを飲みながらこちらも大いに盛り上がりおりました。また、毎年恒例となりましたゲーム大会は、メジャー引き伸ばしゲームや、チーム対抗の早食い競争、サケの重量当てゲームなど、趣向を凝らした様々なゲームが行われ、チーム二丸となつて上位を目指し、互いに声を掛け合いながらチームワークを発揮しておりました。



参加された方が真剣にやればやるほど、観客からは声援と笑い声が絶えませんでした。会場を訪れた皆さんは、時のたつのを忘れたことでしょう。

ゲーム終了後は、仮装盆踊りが行われ、子どもから大人まで、輪になつて踊っており皆さんの笑顔が印象的でした。



営農対策情報

根室農業改良普及センター

普及指導員 三宅 裕子

初秋の農場の衛生管理について 清潔な環境で健康な牛群管理を!

表1 根室管内の家畜伝染病発生状況(牛)(頭数)

	H19	H18	H17
サルモネラ症	96	93	36
ヨーネ病	28	67	64
牛ウイルス性下痢・粘膜炎	31	22	13
牛白血病	5	1	1
牛伝染病鼻気管炎	6	2	54
破傷風	5	5	7
ネオスポラ症	5	0	0

ここ数年は、サルモネラ症の発生件数が増加傾向にあります。(表1)
特に秋の発生が多く見られます。
サルモネラ菌の増殖に必要な三要素は、温度、水分、栄養分です。
これからの季節は、台風

サルモネラ症に注意を!

暑さもピークを越え過ぎやすい季節になってきました。人も夏バテ気味で体力的にも低下しているのではないのでしょうか?
乳牛も暑熱ストレスなどで体力低下していると考えられます。
秋の衛生対策の点検を実施し伝染病を予防しましょう。

表2 サルモネラ症の侵入防止・発生防止

- ◎良質な飼料、新鮮な水を給与する
- ◎飼槽、水槽は絶えず清潔にする
- ◎畜舎内外の定期的な消毒を行う
- ◎踏み込み消毒槽を設置する
- ◎畜舎内の野鳥の巣の除去と侵入防止
- ◎ネズミの駆除を行う
- ◎導入牛は隔離観察する
- ◎異常牛の隔離場所の確保
- ◎異常牛は直ちに獣医師の診察を受ける
- ◎異常牛の飼養場所は応急消毒する

や低気圧の通過などで高温多湿になりやすく菌の繁殖しやすい環境になります。
そこに栄養分が加われば爆発的に菌が増殖します。
菌にとつての増殖場所になりやすい飼槽の残餌、ウォーターカップの汚れ、湿った牛床等は重点的に清掃を行います。
サルモネラ症の予防のためには、牛に抵抗力を付けることも必要です。

酪農場の感染対策は、感染経路対策(消毒)、免疫強化(ワクチン接種)感染時対策(淘汰・隔離)があります。根本的な対策は感染経路を断つことです。消毒を徹底し菌の侵入を防ぎましょう。
①踏み込み消毒槽の設置
牛舎、処理室の出入り口に消毒槽を置き、消毒剤を入れておきましょう。汚れたら直ぐに交換してください。

農場での防疫対策の徹底を!



図1 敷料は抱負に入れましょう!

良質粗飼料を給与し、生菌剤の活用も検討下さい。放牧地に草量が不足している場合は牛舎内外で粗飼料の補給も行いましょう。
仔牛、育成牛の衛生管理の徹底も忘れずに。(図1)



図3 石灰などの準備を!

②牛舎内や施設の消毒
牛舎内は定期的に石灰塗布などを実施しましょう。施設の周辺の出入り口には消石灰などを散布し外部からの防疫にも努めましょう。石灰や消毒剤は、常に農場内に在庫を置いておきましょう。備えあれば憂いなし。(図3)

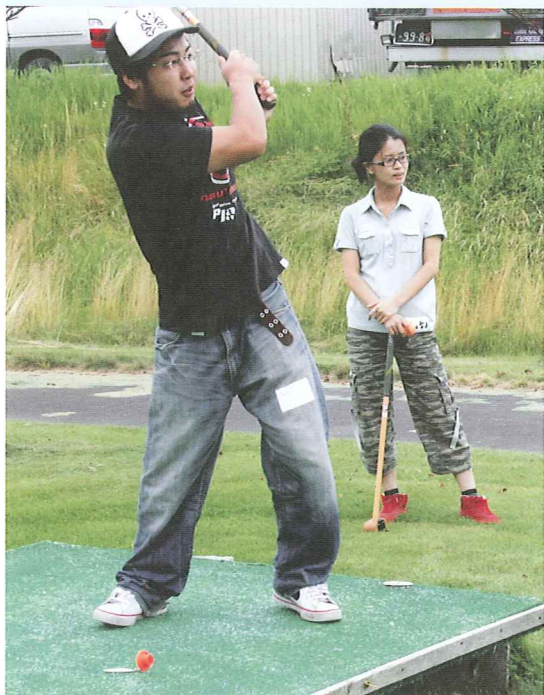


図2 消毒液はこまめに交換しましょう!

ポジティブリスト制度に伴い使用している消毒剤が、踏み込み消毒槽用かどうかの確認もお願いします。(図2)

焼肉を囲み交流を深める

●地区内実習生との交流会開催



中春別農協青年部(部長・猿谷忠義)では、去る8月12日、中春別ヘルスパークにおいて地区内で、酪農実習をしている方々との交流会を行いました。

当日は、天気もよく暑すぎず過ごしやすい一日でした。昨年の交流会では、天候が悪く残念ながら行えなかったパークゴルフを行いました。各組に別れいざコースへ、上位入賞者には賞品も用意されており、皆さん真剣な表情で上位入賞を目指しカップを狙っていましたが、歓声と同じ位の笑い声も聞こえており、互いにパークゴルフを通じ会話が弾んでいました。ちょうどお腹も空いてきたところでパークゴルフ終了後は、焼肉を囲み昼食をとりました。



すっかり打ち解けたようで、和気あいあいとした雰囲気の中、皆さん話も弾み、箸も進んでおりました。お腹も一杯になったところで、ビンゴ大会を行いました。賞品も参加者全員に当たるということもあり皆さんビンゴカード片手に耳をすましておりました。短い時間ではありましたが、仕事を忘れ良い気分転換になったと思います。参加者の皆さんお疲れ様でした。

地元の味をより多くの方々に

●ライダー作戦実施

去る八月十六日、中春別農協青年部(部長・猿谷忠義)では、町内四農協、根室農協青年部合同によるライダー作戦が、昨年に引き続き、道の駅スワン44ねむろにて行われました。

ライダー作戦は、毎年この時期に消費拡大事業の一環として、根室管内を観光中の方々やバイクでのツーリング中の人に無料で牛乳、コーヒー牛乳を配付し、消費拡大を訴えるとともに交通事故多発時期とも重なるため交通安全の呼びかけを目的として行われています。昨年に引き続き今年も「道の駅スワン44ねむろ」にて行われました。各青年部PR



グッズも配布されました。昨年以上の方々が、道内外問わず会場を訪れており、地元の味をPRするとともに乳製品の消費拡大を呼びかける事ができました。会場では、モンちゃんも登場し子ども達に大人気でした。根室警察署より提供していただいた交通安全PRグッズも同時に配布いたしました。同警察署には、駐車場内の交通整理もしていただき例年になくスムーズに実施することができました。

春別川クリーンいかだ下り

みんなが環境を考え ふるさとの川を大切にしよう



八月三日、別海町自然に親しむ会(佐々木茂成会長)の主催のもと、春別川クリーンいかだ下りが開催されました。



早朝の悪天候で開催が心配されましたが、出発前には雨も小降りになり、イカダも川を下れるほど天気も回復しました。予定よりも出発したイカダは少なかつたのですが、小ささまざまなイカダがせせらぎロード終点を目指し出発しました。途中、生い茂っている木々をかいくぐり、自然の障害物に悪戦苦闘しながらも、全基無事にゴールすることができました。

イカダ下り終了後は、せせらぎロード終点の特設会場で焼肉を囲



みながら、恒例のイベントであります、魚捕りが行われ、子供たちはいけすに入っているヤマベを相手にびしょびしょになりながらも必死で魚を捕まえていました。また、子供たちによる、牛乳早飲み大会や町内の方によるフラダンスも披露され、最後に恒例の抽選会が行われ、会場は終始賑やかでクリーンいかだ下りは幕を閉じました。



JA中春別女性部からの
今月のおすすめ!メニュー

ヨーグルトの隠し味でまろやかに **ブロッコリーとチーズのナッツサラダ**

材 料<4人分>



- ・切れてるチーズ 4枚
- ・ブロッコリー 小1株
- ・エリンギ 2本
- ・ミックснаッツ 40g
- A { プレーンヨーグルト 大さじ1
- 味噌 小さじ1
- マヨネーズ 大さじ2
- 塩 少々
- コショウ 少々

調理方法

1. ブロッコリーは子房に分け、エリンギは食べやすく切っておく
2. 切れてるチーズは1cm幅の単作に切る
3. ミックスナッツはあらく刻んでおく
4. 塩を加えた熱湯にブロッコリーを入れ2分ゆで、エリンギを加えてさっと火を通しザルにとって水気を切り手早く冷ます
5. Aの材料をよく混ぜ合わせ、チーズと野菜を加え、ナッツも合わせてざっくり混ぜる

<一人分の栄養価> エネルギー154Kcal タンパク質6.9g 脂肪12.6g
 カルシウム94mg 塩分0.6g

資料提供：別海町食生活改善連絡協議会中春別グループ

「中春別フリーマーケット」
 大盛況でした!



れたにもかかわらず十五店が参加し、来場した人からの値段交渉に笑顔で応えていました。今年も行われたAグループの「牛肉試食販売」を楽しみにしている人、自家製野菜を買い求める人、子供連れで来場した人は子供服やおもちゃを、また自分用に洋服を買う人などお目当ての物や掘り出し物を抱えた人で賑わっていました。

必要としてくれる人のところへ、使ってくれる人のところへ、不用品が用品に変わるフリーマーケット。来年も地域の方々と共に開催できる事を願っています。

農協女性部(部長：青野美幸)では、八月三十日(土)農協ミルク王国横芝生スペースで「中春別フリーマーケット」を開催しました。女性部が中心となり、部員・市街・地域の方々が個人またはグループで、家庭で不用となった物や新品などに使用してない物で活用できる物、手作り品などを持ち寄りフリーマーケットを実施しました。

中春別地域の方々に限ら



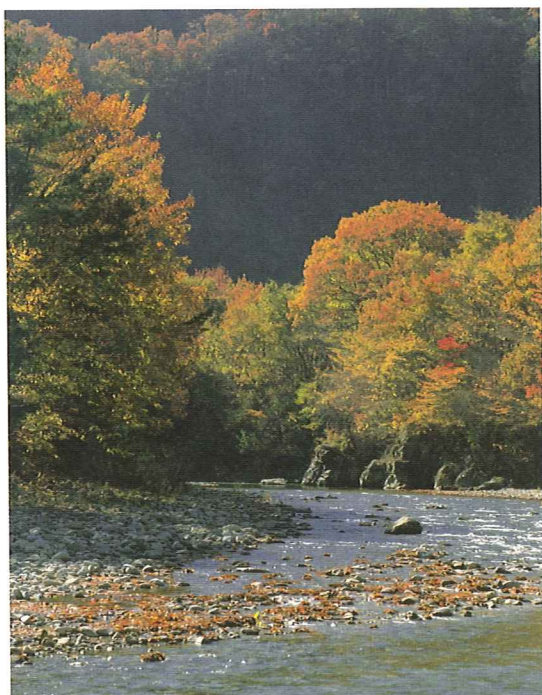
第5回 理事会のうごき



平成二十年八月二十七日(水)

議案

- 一. 情報セキュリティ及び個人情報取扱いの態勢整備について
- 二. 平成二十年度役員研修について
- 三. 平成二十年度農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
- 四. 担い手後継者育成事業実施要領(案)について
- 五. ホルスタイン種を用いた採卵及び胚移植について



以下、原案通り承認。

報告事項

- 一. 平成二十年度六月未定期監査報告書について
- 二. JA全国監査機構監査の終了について
- 三. 第十一回「宵の市」の終了について
- 四. 緊急事態発生連絡通報体制について(変更)
- 五. 根室管内農協組合長会
- 六. (社)中央酪農会議酪農海外現地実務研修会への参加について
- 七. 平成二十年度肥料年度取扱要領について
- 八. 平成二十年度七月末七月末営農生産関連実績について
- 九. 平成二十年度六月末営農生産関連実績について

海外事情調査への参加について

7月 乳質乳価一覧表

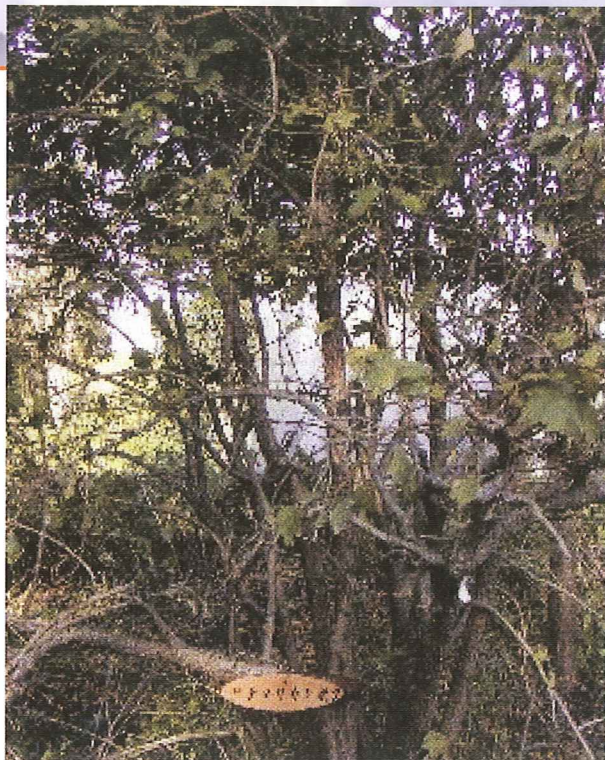
(単位:円/kg)

		単価	算出基礎		支乳払価	前年同期	差
乳脂肪分		731.086			28.29	25.51	2.78
無脂乳固形分		462.984			40.07	36.18	3.89
補給金		4.4304			4.43	4.11	0.32
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	318,164,842.6kg	3.66	3.67	-0.01
		ランク2	0	6,752,201.8kg			
		ランク3	-3	406,648.5kg			
	体細胞数	ランク1	2	267,009,785.9kg			
		ランク2	1	31,204,631.9kg			
		ランク1	-2	4,798,618.0kg			
特別対策		ランク2					
合計					76.45	69.47	6.98

7月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg %
乳脂肪分①	28円29銭
無脂乳固形分②	40円07銭
補給金③	4円43銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.87%
	農協 3.90%
無脂固形分率	全道 8.65%
	農協 8.62%
成分乳価	全道 72円79銭
①+②+③+④-⑤	農協 72円86銭
乳質乳価	全道 3円66銭
⑥	農協 3円74銭
乳代合計	全道 76円45銭
	農協 76円60銭
⑤+⑥	差異 0円15銭

テマリカンボク(手毬肝木)



身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう

カンボクの花がすべて装飾花になった品種で観賞用に栽培されています。木の高さは4mの落葉広葉樹です。

カンボク(肝木)と書き慣わされていますが、その語源は不明です。テマリカンボクのテマリ(手毬)は装飾花が多数ボール状に集まってつくことから、テマリの名がつけられました。材は香気があることから、楊枝につかわれますが、材としての利用よりも庭木、公園などの観賞木として植えられています。

6月ごろに枝先に球状の径2cmの白い装飾花をつけます。

カンボクはタネまたはさし木で増殖するが、テマリカンボクは結実がまれなのでさし木で増殖させます。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

編集後記

▼八月中はなかなか気温も上がらず、太陽が顔を出す日も少ないまま、とうとう九月を迎えてしまいました。二番草の収穫作業の遅れが心配です。

▼さて、今月号では各地区のお祭りを掲載いたしました。当日、天候に恵まれなかった中での開催となった地区もありましたが、それでも各地区ともに多くの方々が集い、大いに賑わっておりました。子ども達の神輿では、「ワッシヨイ！ワッシヨイ！」と雨雲を吹き飛ばす様な元気な掛け声で、ハッピ姿の子ども達が笑顔で神輿を担ぐ姿が印象的でした。浴道の人も自然と笑顔になりました。また、お父さん、お母さん方は、神輿を担ぐ我子の姿を写真におさめていました。良い写真が撮れたことと思います。参加された皆さんは、大勢で賑やかな時間を過ごし、日頃の疲れを癒すことができた事でしょう。

▼八月中旬を過ぎ尾岱沼漁港では、秋アジの群れが多く見られる様になり、季節も夏から秋へと移りゆくのが感じられました。これから二番草収穫作業が、スタートすることと思います。事故にはくれぐれもお気をつけ下さい。